

氏 名：三浦 里織

学位の種類：博士（看護学）

学位記番号：甲第 263 号

学位授与年月日：2024 年 9 月 17 日

学位授与の要件：学位規則第 5 条第 1 項該当

論文審査委員：主査 奥山 絢子（聖路加国際大学教授）

副査 林 直子（聖路加国際大学教授）

副査 射場 典子（聖路加国際大学准教授）

副査 安藤 瑞穂（聖マリアンナ医科大学病院看護部）

論文題目：外来化学療法室における抹消血管からの壊死起因性抗がん薬レジメン投与時の血管外漏出予防に対する実装研究

博士論文審査結果

審査における主な指摘は以下であった。

本プロジェクトの目的は、研究者が所属する外来化学療法室において、壊死起因性抗がん薬レジメン投与時の血管外漏出予防プログラムを実装し、がん薬物療法を受ける患者に対して安全に治療を行うことである。MD Anderson Cancer Centerで行われているプログラムを参考に、約 3 か月間のプロジェクトを行った。結果、実装アウトカムとして看護師の採択率は 100%であり、プログラムの受容性や満足度は高かったが、忠実度や医師の協力を得ることは難しく今後の課題であった。臨床アウトカムとしては、患者自身で予防行動がとれるようになったことが語られ、看護師の投与管理を見直す契機となった。

審査は、7 月 24 日にオンラインで行なわれた。審査で出された主な意見は次のとおりである。

- ・ MD Anderson の臨床チャートから独自に変更した箇所がわかるように記載すること。
- ・ Procter のフレームワークを用いたと記述されているが、論文には費用、持続可能性、到達度について明記されていない。本研究での取り扱いについて追記する必要がある。
- ・ 今後プログラムを行なうにあたり医師の協力をどのように得る必要があるか、今後の示唆を論文中に示してはどうか。
- ・ 計画では、多職種連携と述べていたのに、結果では看護師のみの採択率となっている。プロジェクト通りにできなかったことも含めて結果を記載する。
- ・ 患者 2 名に対するインタビューデータも大事なデータであるため結果に示してはどうか。
- ・ 看護師に対するインタビューも行って内容分析を行うと計画には記載してあるので記載すること。
- ・ 看護師に対するインタビューが Web アンケートになっており、計画書と異なるので、一貫性を持たせて記載する必要がある。
- ・ プロジェクトとして何を行ったのか、どの結果から何が明らかになったのかわかるように記述すること。また、変更した箇所があれば、その変更がわかるように記述すること。
- ・ 結果を正確に記述し、その結果からどこまで言えるのか、丁寧に考察する必要がある。
- ・ 看護師の知識・技術が向上したとあるが、知識・技術の高い集団であったのではないか。
- ・ 「満足度」とあるが、どの値を評価指標として述べているのかが不明瞭である。
- ・ 医師と看護師の末梢血管の選択に関して、考察で看護師の判断が適切であったと記載されているが、そう判断した根拠が不明瞭である。
- ・ 結果的に医師のうち本プロジェクトに参加したのは腫瘍内科の医師のみであったため、それを結果に明記するとともに、結果の表記として腫瘍内科のケールとそれ以外のケースとして分けて提示してもよいのではないか。

以上の意見に対し、論文が修正された。修正結果は審査委員全員が適切に修正されたことを確認した。

本プロジェクトは、血管外漏出という評価が難しい課題に取り組んだ意欲的なプロジェクトである。本プロジェクトの実施から見えてきた課題について、引き続き臨床において検討を行なうことで、将来の血管外漏出予防につながることを期待される。

以上により、本論文は、本学学位規定第5条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。